

●出丸地区 まちづくり懇談会記録

平成23年6月24日(金)午後7時～9時 (出丸公民館)

魅力あるまちづくり

	質問事項	答弁要旨	答弁者
①	中学校まで通学に良い環境だと思えますが、高校、大学などの遠距離の通学に不安を感じます。実際、夜間の町内はとても暗いです。街灯の整備が必要だと思えます。また、駅などへの送迎をしている親も多いことから、駅周辺の駐輪場、駐車場について、行政として補助など検討していただければと思います。	通学については、町内、町外に関係することです。さまざまな意見を参考に検討し、町内でできることを対応したいと思えます。駐車場、駐輪場の支援については、学費の助成などを、教育委員会で検討したいと思えます。公共交通については、現在、人口が減少していることから要望どおりにならないのが現状です。公共交通のありかたについても、今後も検討していきたいと思えます。	町長
②	高齢者世帯が増加し、その子どもたちが戻ってこないことで、空家が増えています。雑草の問題など、空家住宅の活用を早急をお願いします。	空家住宅については、昨年から問題になっており、実際増加しています。治安の悪化にもつながることから、地域のかたにご協力をいただき、町としても状況の把握を考えています。活用方法も今後検討していきたいと思えます。 農業委員会、JAと協力し、どのような形で空家バンクを立ち上げたらよいか、協議を進めていきたいと思えます。	町長 農政産業課長
③	敷地内に子どもの世帯が住宅を建築しようとする、とても困難と聞きます。規制をもう少し緩くすることはできませんか。	分家住宅の建築は、現在都市計画法では、随分規制が緩くなっています。建築基準法等の法律の制限内で、可能な限り建築ができるようにしたいと考えております。農業振興地域内への建築についても、可能な限り建築ができるようにしたいと考えています。そのような案件がありましたら、ぜひご相談ください。 分家住宅の建築は、6親等まで可能です。状況はそれぞれだとは思いますが、建築できるように協力させていただきたいと思えます。	町長 まち整備課長 農政産業課長
④	現在、ゆとり教育で週5日制です。土曜日に、小・中学生を対象とした思い出になるような事業(地域の高齢者とのふれあいなど)の実施をお願いします。	地域子ども教室は地域の教育力の向上を目的に町内6地区それぞれで実施されています。教室の運営は主に地域のボランティアのかたが行っています。年間12回(月1回)、日曜日等に実施しています。年々、参加者、ボランティアの数は増加していますので、今後も、さまざまなご提案をいただき、事業に反映させていければと思います。	教育長 生涯学習課長
⑥	リーディングプロジェクトのメンバーはどのようなかたですか?ぜひ、さまざまなかたが参加したほうが良いと思えます。	現在、役場内職員が定住促進のための施策を提案し、重点施策として各課の職員が中心となり定住促進に繋がるのかを検討しています。委員会などは設置していませんが、今後、必要に応じて住民のかたや専門家など外部のかたによる委員会の設置なども考えていきます。	町長 政策推進課長
⑦	巡回バスは本数が少なく利用しにくい状況です。バス停留所へ乗り入れなども検討してほしいと思えます。リーディングプロジェクトの達成には、交通アクセスの改善が最重要だと思えます。リーディングプロジェクトの①定住促進、②交流・転入促進、③生活基盤充実を進めるための町の考えを聞かせてください。	リーディングプロジェクトはスタートしたばかりです。今後、さまざまな意見をいただければと思います。交通アクセスの改善については、今後も模索していきたいと思えます。巡回バスについては、いくつかのバス停留所に乗り入れはしていますが、利用者のために見直しも必要だと思えます。なお、医療機関や買い物に行きたい交通弱者を送迎するデマンド交通については、近隣の市・町が実施しています。実施方法や料金設定なども検討し、町として交通弱者を救済していきたいと思えます。なお、地域活動の1つとして交通弱者を助けることも可能です。そのような取り組みがあれば、町としても支援していきたいと思えます。	町長 政策推進課長
	成人者との座談会のなかで、親子で参加できるイベントを開催してほしいとの意見をいただきましたが、PTAの皆さんはどのように考えますか。	スポーツ少年団の活動などは親子で参加しています。事業やイベントが増えても、参加できる子とできない子がいるので心配です。	PTA会長

⑧	平成22年度は町内で交通事故が多発していますが、事故の当事者が町民なのか、町外のかたなのかによって対策が異なると思うのですがどうですか。	交通事故は、町民のかたも犠牲になっています。町民のかたに限らず、すべてのかたが交通ルールを守り、十分に注意する必要があるのではないのでしょうか。	町長
⑨	町長の公約である「教育の改革」①幼保一体化の推進②学校規模の適正化③教育特区などによる、授業や部活動の合同実施④青少年の交流の強化についての説明をお願いします。	<p>幼保一体化の推進については、今年度、川島幼稚園の入園者は35人と減少しています。入園者が減少した原因の調査を現在、実施しており、その結果に基づき保育時間なども対応していきたいと思ひます。なお、国では幼稚園、保育園の機能を持った総合施設が望ましいとしています。</p> <p>学校規模の適正化については、各小学校の児童数は減少しています。競争する心も大切です。学校を統合し、送迎などを希望する保護者の意見もお聞きしています。地域文化の中心である小学校を統合するのは困難だと思ひます。文部科学省による適正規模（1学年2学級以上）は目標になると思ひます。</p> <p>授業や部活動の合同実施については、中学校の生徒数が減少し、希望する部活動ができないとの声も聞きます。町内2中学校で、部活動の合同練習の実施などを考えています。</p> <p>青少年の交流の強化については、昨年度から、北海道の沼田町との交流もスタートしました。また、これまでどおり、オーストラリアとの国際交流も継続実施していきます。子どもたちには、さまざまな交流を通して、さまざまな体験学習をしていただきたいと考えています。</p> <p>幼保一元化について、国では認定子ども園と呼んでいます。群馬県では、国の指導の下、幼稚園と保育園が同一の建物内にある施設を平成17年にテスト的に実施したことがあります。町内の施設設備の面で困難なところがありますが、そのような施設は理想だと思ひます。なお、女性の社会進出の増加により、保育時間の延長は社会ニーズであり、そのことが、幼稚園の園児数減少の原因の1つだと考えています。学校規模については、地理的条件など、地域の実態に合わせるべきだと思ひます。なお、現在町内の2中学校とも、男子4、女子3の部活動しかないことから、希望の部活動ができないという話も聞いております。</p>	町長 教育長
⑩	中学校の統合に関する考えを聞かせてください。	現時点では、統合については考えていません。	町長
⑪	①川にきれいな水を流すために町が推進している合併浄化槽に協力している家庭も多くあります。しかし、排水路が汚れては意味がないと思ひますが、台風などの集中豪雨の際にも関係すると思ひますが、排水路に対する町の考えを聞かせてください。②合併浄化槽の耐用年数を教えてください。	<p>排水路の整備については、今後、国、町が協力し、横塚川や排水路の整備を実施していきたいと思ひます。また、その際には地域の皆さんもぜひご協力いただきたいと思ひます。</p> <p>合併浄化槽については、日ごろから、適正な管理をすることで、長い期間使用することができます。</p>	町長 町民生活課長
⑫	東日本大地震による福島第1原子力発電所の事故による放射能汚染が問題になっています。県内農産物などに対する検査状況を教えてください。	埼玉県では放射性量に対する調査をこれまでに農産物については、14回、原乳については、10回（6月24日時点）実施しています。これまでの検査では、放射性ヨウ素、放射性セシウムについて暫定規制値以下でした。近隣市町での検査結果では、基準の500以下で、問題のない数値と聞いています。埼玉県が毎日検査結果をホームページに掲載しているので、ご確認ください。	町長 農政産業課長
⑬	今後、このままの通常の生活を続けて、問題はいいのか？また、注意点などはありますか。	放射線について、現時点であれば、通常の生活を続けていけば問題がないと言われています。町でも、町内施設の放射線量の調査を実施し、これまでは問題のない数値となっています。	町長
⑭	町内のプール水については検査を実施していますか。	町内の小・中学校から、伊草小学校を選び（6月8日）、検査機関に検査を依頼しました。放射性物質については検出されませんでした。	教育総務課長